



臨床器材研究所
所長

川原 大
先生

今回のアイテム

PMTCCとホワイトニング

本稿で紹介する

Sybron Dental 傘下の Kerr / Hawe シリーズの製品群は世界中の臨床家に親しまれているが、とくに歯面研磨材、クリニークチューブ(写真①)については崩壊性の研磨粒子を使用することにより、複雑なステップを回避しつつ、低い REA (相対的エナメル質損耗値) を達成することに成功し、歯質の侵襲を避けつつ外来性色素沈着の除去効果を向上させた点は特筆に値する。

私のオフィスでは5年以上前より本製品がリリースされた直後からホワイトニング前の歯面研磨材として愛用している。研磨材を効果的に生かすには、研磨材を歯面に運び研磨する器材もまた重要である。Kerr / Hawe シリーズのプロカップ内面は研磨材の保持にすぐれた独特の形状をして

おり(写真②)、外周のらせん形の切れ込みは、時計回りに回転させるとカップ周辺の研磨材を歯面に集約する特性を有するだけでなく、カップの外周でも研磨材を保持しながら研磨が可能である(写真③、④)。

ホワイトニングでは術前と術後の写真撮影が非常に重要であるが、この目的に適したリトラクターのオプチビューも販売されている(写真⑤)。いささか装着が難しいが、慣れてしまえば口腔前提部分のリトラクション効果にすぐれているためオフィスブリーチング時の口唇の排除にはうってつけの製品である(写真⑥)。

オフィスブリーチングに際してのラバーダムに関しては面倒なので光重合型のバリアマテリアルで簡易防湿を行っている臨床家も多いと思われるが、歯を乾

燥させることがオフィスブリーチングの漂白効果を高めるコツでもあるため、著者はラバーダム防湿を行うことも少なくない。

Kerr / Hawe の製品群はこの点にも実によく配慮されたオプチダム / ラバーダム防湿キットが市販されている(写真⑦)。ラバーダムシートの内面に付与されているイボ状の突起部分をハサミで切断穿孔すればそのまま歯列弓に適合するようになっており、きわめて操作が簡便になった(写真⑧の拡大部分)。

写真⑧はオフィスブリーチング中の写真である。両側の第一大臼歯を写真⑦で示した樹脂製のソフトクランプで、左側の犬歯と小臼歯部の歯間部にはウエッジ付きのデンタルフロス(フィックスアフロス、写真⑨)を挿入してラバーダムシートを固定し

ている。フィックスアフロスは操作性にすぐれ、ラバーダム防湿のみならず、直接成形修復の様々な場面でも活用しうると考えられる。

写真⑩はオフィスブリーチング直後の写真である。ラバーダム防湿のレベルが浅く、とくに右側犬歯部分では歯頸側には漂白剤が十分に達しえないことは明白である。この点はユーザである臨床医の工夫が開発者に提案され、さらによりよき製品となることを期待する。



クリニークチューブ/クリーニングブラシ/プロカップ オプチダム/ソフトクランプ/フィックスアフロス